

独自のアイデアで活動

JIA近畿総会

日本建築家協会(JIA)近畿支部は18日、大阪市中心区の綿業会館で18年度通常総会を開き、役員改選で井上久実氏を支部長予定者に選出した。6月26日のJIA総会で井上氏の人事案が承認されると再任が正式決定する。総会では17年度事業・決算を決めるとともに、18年度事業計画・予算を報告した。

井上支部長は「支部のこれからの活動のあるべき方向を示した基本政策諮問会議の答申書を17年にとりま



とめた。この答申書の内容を実行するため、支部長をあと1期続ける決心をした。答申書は、建築家として誇りを持って活動することを前提としている。JIAは少数の専業建築家による団体だからこそ他団体とは異なる意識を会員全員が持って活動する必要がある。その活動には建築家ならではのアイデアが必要。今後とも会員の皆さんと建築家としての意識を共有しつつ活動を行っていききたい」とあいさつした。写真。

18年度事業計画には建築家間の議論・意見交換などの場である「アーキサロン」の継続実施や関西建築家大賞・関西建築家新人賞の継続、近畿支部各地域会間の情報共有のネットワーク拡充、若手会員増強などを盛り込んだ。